

# 国内外の動向をふまえた

## 医療経済評価(薬剤経済学)の基礎と実践

- ◆日時: 2015年9月29日(火) 12:30~16:30
- ◆会場: 商工情報センター 9F 第2研修室
- ◆聴講料: 1名につき49,980円(税込、資料付)

⇒1名につき**32,400円(税込、資料付き)**  
 2名同時申し込みの場合、1名につき**21,600円(税込)**

### 講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

●講師: クレコンメディカルアセスメント(株) 取締役最高業務責任者(COO) 小林 慎 氏

《ご専門》

薬剤経済学、医療経済学、統計解析

《ご所属の学協会など》

- ・国際医薬経済・アウトカム研究学会 (ISPOR) 日本部会 理事・事務局長
- ・DPCマネジメント研究会 理事
- ・日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所 特任教授
- ・多摩大学医療・介護ソリューション研究所 シニアフェロー

[講座のポイント]

2016年度から医療経済評価(薬剤経済学)を我が国の医療行政に試行的に導入することが予定されています。今後我が国の製薬・医療機器企業にとって医療経済評価の知識は必須になることは間違いありません。本講演では、医療経済評価の基本的な用語や考え方、分析の方法や結果の解釈、企業における取組の方向性と問題点など、来るべき医療経済評価の試行的導入に備えて企業が把握しておくべきテーマを幅広く網羅します。

[プログラム]

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. 医療経済評価(薬剤経済学)の基本的考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 費用対効果の基本的考え方</li> <li>(2) ICERとQALY</li> <li>(3) モデルと感度分析</li> <li>(4) 医療技術評価 (HTA) と医療経済評価</li> </ul> <p>2. 医療経済評価を取り巻く国内外の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 海外の動向</li> <li>(2) 我が国の動向</li> </ul> | <p>3. 医療経済評価の利用可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「価値に見合った価格」の主張</li> <li>(2) プロモーションツールとしての医療経済評価</li> <li>(3) リアルワールドデータ</li> </ul> <p>4. 製薬・医療機器企業の取り組みのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 開発プロセスへの導入</li> <li>(2) プロダクトライフサイクルへの導入</li> <li>(3) 人材育成と体制作り</li> </ul> |
|--|--|

【質疑応答・名刺交換】

(講師紹介割引)『医療経済評価』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。  Eメール  郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。  
 セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>  
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階  
 TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>